６．キリル文字翻字法

6.1. キリル文字翻字法

キリル文字を一定の法則でローマ字に置き換えることを「キリル文字翻字」といい、その方法を「キリル文字翻字法」という。キリル文字翻字は、ローマ字を使用している英語圏の図書館などで、ロシア語などのキリル文字を使用する言語で書かれている図書・資料の文献カードを英文タイプライターなどで作成する必要性から生まれたものであると推測される。

現在、コンピューターはマルチリンガル化されたが、図書館の検索システムや、英語圏での英文出版物などの注や参考文献表などで、ロシア語文献などのキリル文字文献を表記するさいには、キリル文字から翻字されたローマ字で表記されることが多い。

キリル文字翻字法にはいくつかの種類があるが、以下は、日本で最も普及している翻字法である。この翻字法は、LC（Library of Congress of US）方式（米国議会図書館方式）をもとに、特殊な記号を省略したものである。

なお、このほかの代表的な翻字法としては、以下の方式のうち、ю を yu に、я を ya にするものなどがある。

А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	О	П
A	B	V	G	D	E	E	Zh	Z	I	I	K	L	M	N	O	P

Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э	Ю	Я
R	S	T	U	F	Kh	Ts	Ch	Sh	Shch	”	Y	’	E	Iu	Ia

а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н	о	п
a	b	v	g	d	e	e	zh	z	i	i	k	l	m	n	o	p

р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э	ю	я
r	s	t	u	f	kh	ts	ch	sh	shch	”	y	’	e	iu	ia

6.2. キリル文字翻字の例

Пётр Ильи́ч Чайко́вский	Михаи́л Серге́евич Горбачёв	Мари́я Ю́рьевна Шара́пова
Petr Il'ich Chaikovskii	Mikhail Sergeevich Gorbachev	Mariia Iur'evna Sharapova

Росси́йская Федера́ция	письмо́	борщ	субъе́кт	я говорю́ по-ру́сски.
Rossiiskaia Federatsiia	pis'mo	borshch	sub”ekt	ia govoriu po-russki.

なお、慣用化した固有名詞の英文内での表記などでは、以下の例のように、LC 方式の翻字とは異なるものがある。こうした慣用化した翻字は不規則のように見えるが、おおよその法則性はあり、Чайко́вский などの形容詞形語尾を持つ固有名詞の語尾に y を用いるほか、E を E ではなく Ye としたりするとか、軟音記号 ь を省略したりすることなどがしばしば見られる。またキリスト教由来の固有名詞は、各言語における独自の表記法があり、丸ごとそれに置き換えられることがある。

キリル文字	Чайко́вский	Е́льцин	гла́сность[1]	Санкт-Петербу́рг	Екатери́на
LC 方式	Chaikovskii	El'tsin	glasnost'	Sankt-Peterburg	Ekaterina
慣用	Tchaikovsky	Yeltsin	glasnost	St. Petersburg	Catherine

[1] 固有名詞ではないが、ソ連末期のゴルバチョフ政権期の「情報公開／言論の自由」といった意味のスローガンとして、国際的に知られ、英文の新聞等の報道で、しばしばロシア語のまま、ローマ字に翻字されて広く伝えられた。

キリル文字翻字法の練習

学生番号		名前	

LC 方式翻字法に従って、以下のキリル文字はローマ字に、ローマ字はキリル文字に翻字してください。
［1〜13 は各 4 点、14〜17 は各 12 点］

1 днём _____

2 музе́й _____

3 пло́щадь _____

4 семья́ _____

5 слова́рь _____

6 хо́лодно _____

7 часы́ _____

8 babushka _____

9 pesnia _____

10 shkaf _____

11 tetrad’ _____

12 vopros _____

13 zhurnal _____

14 Фёдор Миха́йлович Достое́вский

_____

15 Лев Никола́евич Толсто́й

_____

16 Vladimir Vladimirovich Putin

_____

17 Dmitrii Anatol'evich Medvedev

_____